

## 「景観開花。8」応募要項

2011/7/11

### 目的

過去の日本では、高度経済成長期において早急な社会基盤整備が求められ、場所性を無視した画一的な土木構造物が多数生み出されてきた。しかし、インフラ施設がある程度拡充した現代では、土木構造物においても、量から質への価値転換が行われ、風景への調和、その場所が持つ意味・役割に合わせた土木デザインを求める機運が高まりつつある。このような背景を踏まえ、本「設計競技」ならびに「パネルディスカッション」は、土木デザインに関心ある若者へ、その力を試す場を提供すると同時に、多くの人々へ土木デザインの可能性を示すという目的を持って開催される。

2011年3月11日。折しも発生したM9.0という未曾有の巨大地震は、かけがえのない日常風景、そして住み慣れた街の景色を一瞬で変えてしまった。その自然の猛威を前に無力感すら感じてしまう。

しかし、現在では、徐々に再建へと向けた取り組みが広がりつつある。今こそ、将来を担う世代である私たちが、土木構造物の新しい可能性、そして私たちの暮らし方の未来について考えていく時ではないかと強く感じている。

今年度からの「景観開花。」は『まち』を主軸に据えたテーマ設定を長期的に続けていく、という新たなフェーズに突入する。『まち』は、私たちの生活基盤であり、かけがえのない日常生活の舞台となる。このような時だからこそ、様々な観点から『まち』と改めて向き合い、これからの『まち』の在り方について、長期的に向き合っていこうと考えている。

そして「景観開花。」を通して、この東北の地から発信されたアイデアが、これからのより良い生活、そして復興への一助となることを願っている。

## テーマ「未来へつなぐ街路デザイン」

今年の「景観開花。」は、『まち』における自らの生活を振り返り、改めて見つめなおす機会として位置付けたい。そのため今回は、『まち』に存在する数多くの土木構造物の中で、私たちの日常生活に関わりの深い街路のデザインをテーマとした。

街路は『まち』を育み、『まち』の表情を映し出す。街路を通じて、人と『まち』、『まち』と『まち』がつながり、人と人の生活が交錯する。そして街路は、それぞれの土地の記憶を刻み続けてきた。

街路デザインを通し、身近な『まち』を新たな視点から見渡すことで、秘められた街路の可能性を社会へ広く提起してほしい。

## 設計条件

街路の新しい可能性を引き出すデザインを提案すること。ただし、以下の点に留意すること。

- ・ 既存の街路または計画中・建設中の街路がある場所でも、計画がない場所でも構わない。
- ・ 街路や街路周辺、まち全体との関わりを含めた、独自の案を提案して良い。
- ・ 実在する場所を対象地とする。
- ・ 地質調査や構造計算の必要はないが、構造の現実性は確保すること。

## 対象者

- ・ 2011年8月1日現在、大学・大学院・高等専門学校・専門学校・高等学校に籍をおく学生、及び経験年数5年以下の社会人。グループでの応募可。
- ・ 11月26日（土）に仙台で行われる公開最終審査会に参加できること。

## 提出物

以下3点を作品提出条件とする。

### 1) 設計図面

提案の意図を表現する図面（縮尺は自由）および説明文。

A1 サイズ（594mm×839mm，縦横は問わない）のケント紙またはそれに類する厚紙1枚に収めること。

2) 設計模型

提案する街路と周辺との関係が理解できる模型。縮尺は自由だが，模型サイズは1 m<sup>3</sup>以内に収めること。

3) CD

図面データをPDFファイルに変換し，CD-Rにデータを移したもの。ファイル名は，代表者名とすること。

### 注意事項

- ・ 応募作品は未発表作品に限る。
- ・ 提出物の返却は，着払い又は指定の期間までに東北大学工学部建築・社会環境工学科まで直接引き取りに来られる場合のみ受け付ける。
- ・ 応募作品の著作権は，応募者に帰属する。
- ・ 主催者および実行委員会は，本設計競技の趣旨の範囲内で著作権者名を明示した上で，懇親会報告書，記者発表資料，作品集，web等を通じて，応募作品および提案されたアイデア，情報等を公表できるものとする。
- ・ 課題に対する質疑応答は受け付けない。規定外の問題は応募者の自由決定とする。

### 審査

#### 審査員

審査委員長：篠原修（東京大学名誉教授／土木設計家）

審査員：五十嵐太郎（東北大学大学院教授／建築評論家）

西村浩（㈱ワークヴィジョンズ代表／デザイナー）

（敬称略／五十音順）

#### 審査方法

一次審査会を行い，入賞作品（5点前後）を決定する。後日，公開最終審査会を開催し，入賞した作品の代表者は自らの作品解説を行ってもらう。各賞は，

そのプレゼンテーションを踏まえて審査員に決定してもらい、併せて講評などを述べてもらう。

## 賞

最優秀賞（1点）	: 20万円
優秀賞（1点）	: 7万円
佳作（数点）	: 3万円
特別協賛企業賞（数点）	: 3万円
参加賞（全員）	: 審査員からのコメント

## パネルディスカッション

内容未定

審査員とパネリストを交えたパネルディスカッションを予定

## 日程

- ・ エントリー受付 平成23年7月11日
- ・ エントリー締め切り 平成23年10月14日
- ・ 提出締め切り 平成23年10月31日 24時必着
- ・ 一次審査会 平成23年11月7日
- ・ 公開最終審査会 平成23年11月26日

## 会場

一次審査会 非公開

公開最終審査会 東北大学 川内キャンパス

主催者等

主 催 景観開花。実行委員会  
実行委員会 東北大学工学部建築・社会環境工学科 平野研究室  
(社)土木学会景観・デザイン委員会  
(社)東北建設協会  
共 催 土木学会東北支部  
協 賛 未定  
後 援 国土交通省東北地方整備局

お問合せ先

「景観開花。」実行委員会 委員長 平野 勝也  
東北大学 工学部 建築・社会環境工学科 平野研究室  
〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09  
tel. 022-795-7496 fax.022-795-7494  
mail. [design@plan.civil.tohoku.ac.jp](mailto:design@plan.civil.tohoku.ac.jp)

模型送付先

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2 丁目 1-1  
東北大学電気通信研究所  
景観開花。実行委員会 宛  
tel. 022-217-5430